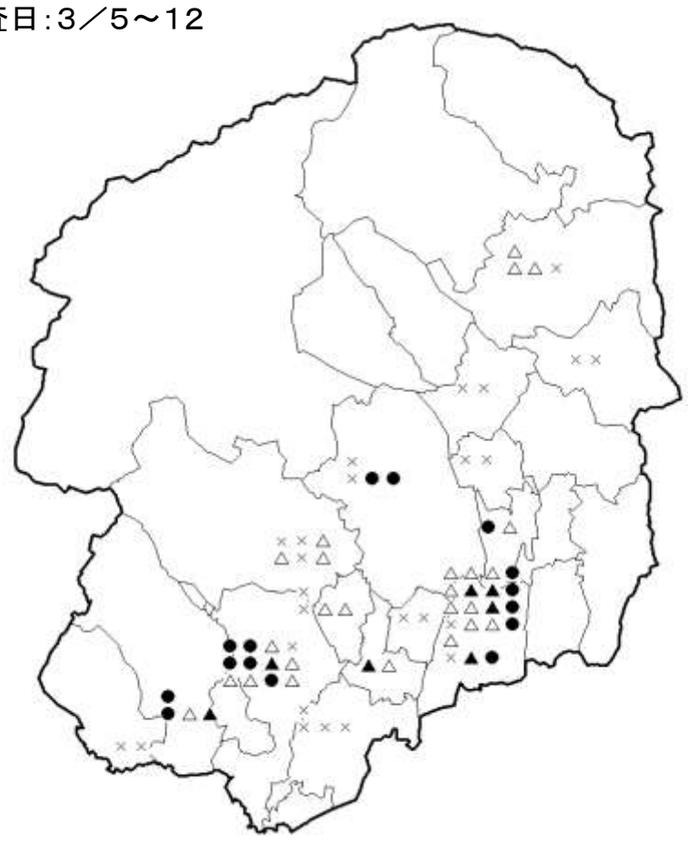
いちご病害虫情報第10号（3月）

平成24年3月16日
栃木県農業環境指導センター

		炭疽病	灰色かび病	うどんこ病	萎黄病	アブラムシ類	ハダニ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ幼虫	アザミウマ類	備考
ほ場率	発生ほ場数	4	24	7	5	4	47	15	0	26	総調査ほ場数：72か所
	平均値	5.6	33.3	9.7	6.9	5.6	65.3	20.8	0.0	36.1	総調査株数：1,800株
	平年値	3.1	13.5	6.6	3.3	2.6	35.0	56.0	0.0	13.5	（調査株数：1ほ場25株）
	（平均値／平年値）×１００	180.6	246.7	147.0	209.1	215.4	186.6	37.1	－	267.4	※アザミウマ類の平年値は前年値
	発生程度	多	多	やや多	多	多	多	やや少	少	多	
株率	発生株数	0	91	9	3	15	511	32	0	112	〇今月の病害虫発生状況〇
	平均値	0.0	5.1	0.5	0.2	0.8	28.4	1.8	0.0	6.2	・ハダニ類の多発が続いており、ハダニの吐く糸でクモの巣状になっている株も見られました（写真1）。
	平年値	0.2	1.0	0.4	0.1	0.5	11.4	17.3	0.0	1.6	・灰色かび病の発生しているほ場も多く（図2）、古葉の葉柄、収穫後の果梗、葉先の枯れた部分や果実にも発生が見られました（写真2）。
	（平均値／平年値）×１００	0.0	510.0	125.0	200.0	160.0	249.1	10.4	－	387.5	
	発生程度	少	多	平年並	多	やや多	多	少	少	多	
概　評		平年並	多	やや多	多	多	多	やや少	少	多	

①ハダニ類発生状況(本ぽ)

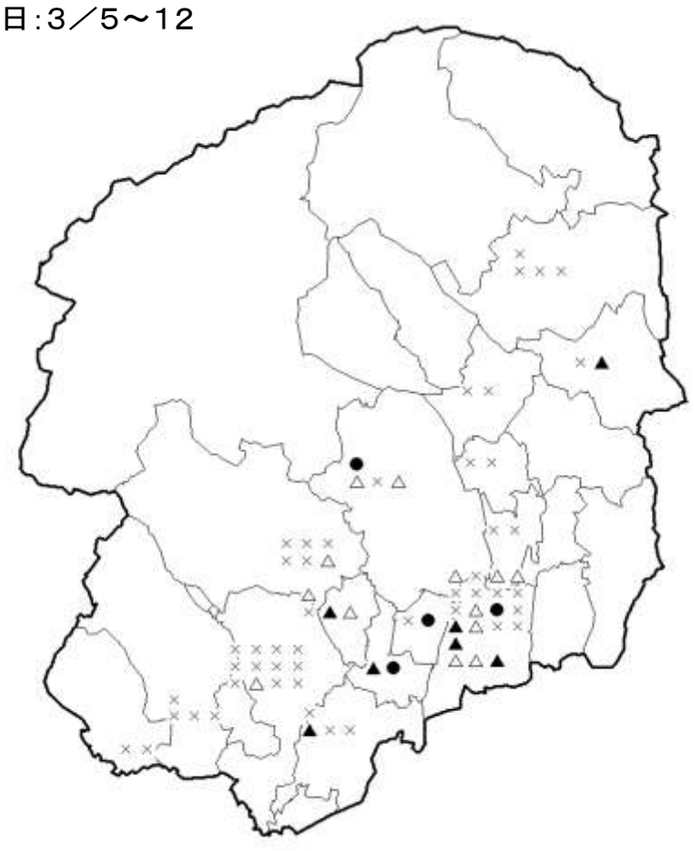
調査日：3／5～12



程度	無	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1～40	40～70	71以上
記号	×	△	▲	●

②灰色かび病発生状況(本ぽ)

調査日：3／5～12



程度	無	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1～10	11～25	26以上
記号	×	△	▲	●

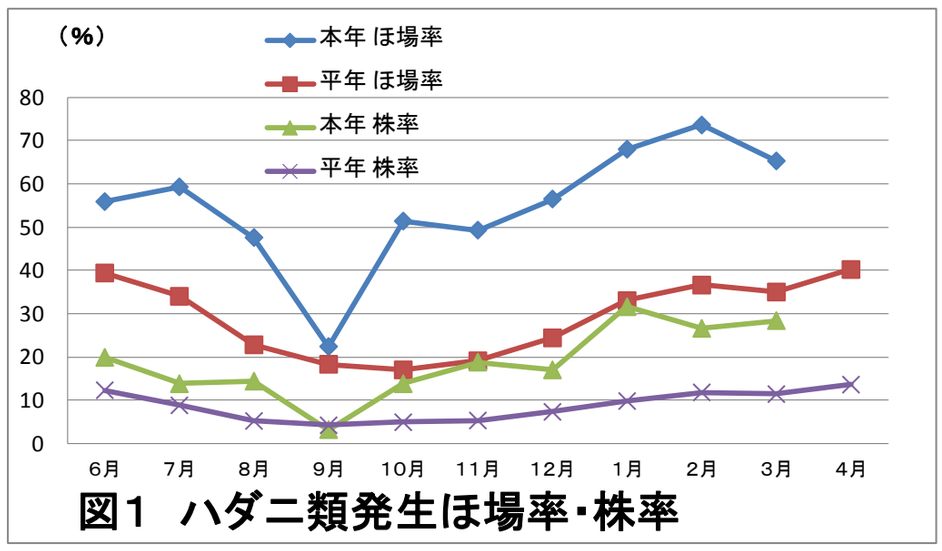


図1　ハダニ類発生ほ場率・株率

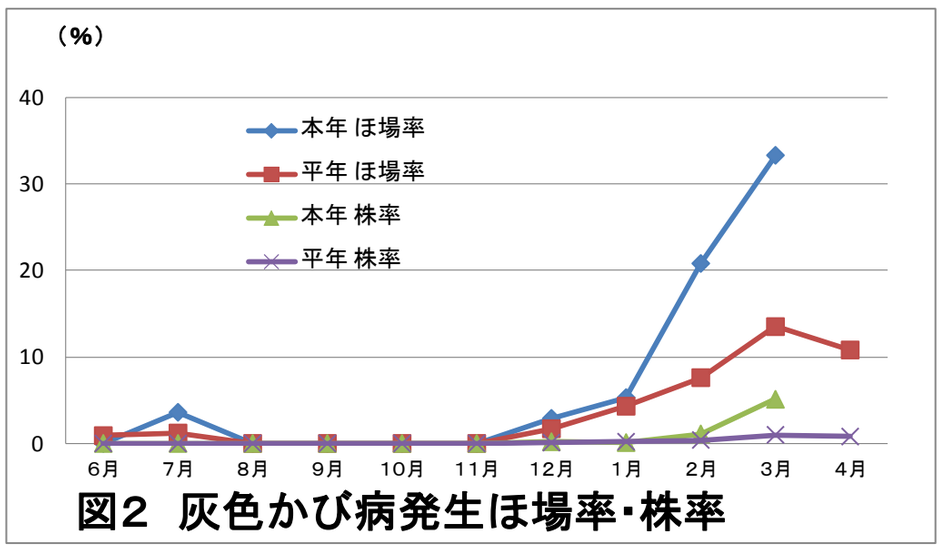


図2　灰色かび病発生ほ場率・株率

写真1　ハダニ類が多発しクモの巣状となった株

写真2　果実に発生した灰色かび病

〇今月の技術情報（技術指導班）〇（3月）

・例年にない低温と天候不順の影響により、いちごの生育は厳寒期からの草勢回復が遅れ気味の状況です。病害では灰色かび病の発生がやや目立ち、また害虫ではアザミウマ類の発生が多くなっています。

・今後は天候が変わりやすくなり、雨天日が多くなると思われます。降水後は高温多湿となり、果実の傷みや、灰色かび病が多発しやすくなります。また気温の上昇に伴い、ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類等の害虫の多発も懸念されますので、早めの防除により被害の軽減に努めましょう。

・3月からは親株の定植時期となりますが、親株は病害虫の発生が無いかよく確認して定植しましょう。活着後はハダニ類などの発生にも注意が必要です。不要になった下葉をかき取るなど、薬剤が葉裏にもよくかかるようにすることが必要です。